





閣中第一五三號

起案 昭和十一年九月二日

我可昭和 年 月 日 施行 昭 和 年 月 日 決定昭和 年 月 日 行

内閣總理大臣 

内閣書記官長 

内閣書記官 

案 (一)

昭和十一年九月二十一日

内閣書記官長

各省次官宛 (各通)

關東局管内標準時改正ニ関スル件

標記ノ件ニ関シ別紙ノ通滿洲國駐劄特命全權大使ヨリ

日本標準規格B4列(十一行全)(木村納)

通知有之候條依命及移牒候  
追テ貴管下關係ノ向、ニ可然御通達相煩度

案 (二)

昭和十一年九月二十一日

内閣官房總務課長

内閣官房記録會計兩課長

内閣恩給統計印刷各局長

内閣東北振興事務局長

内閣紀元二十六百年祝典事務局長

法制局長官

賞勳局總裁

内閣調査局長官

宛(各通)

(白井納)

資源局長官

情報委員會幹事長

樞密院書記官長

會計検査院長

行政裁判所長官

貴衆兩院書記官長

関東局管内標準時改正ニ関スル件

標記ノ件ニ関シ別紙ノ通滿洲國駐劄特命全權大使ヨリ  
通知有之候條依命此段及通知候

案 (三)

昭和十一年九月二十一日

内閣官房總務課長  
對滿事務局次長宛

關東局管内標準時改正ニ關スル件  
標記ノ件別紙ノ通各者其ノ他、天々通知齊ニ付御了  
知相成度為念申進候

(案ハ心ノ旨添附)

關遞第七七七號ノ三

昭和十一年九月十一日

滿洲國駐劄特命全權大使 植田 謙吉

内閣總理大臣 廣田 弘毅 殿

標準時改正ニ關スル件

當管内標準時ハ明治四十年關東都督府告示第三十五號ヲ以テ東經百二十度ノ子午線ノ時ニ依ルヘキ旨定メラレ居候處之ヲ東經百三十五度ノ子午線ノ時ニ依ルコトニ改正セハ自然時トノ時差幾分増大スル為社會生活上多少ノ影響ハ免レサルモ大局上日滿標準時ノ統一ヲ見ル結末政治、經濟、交通、通信、運輸等諸般ノ點ニ於テ相且ノ利益者シク増大シ兩國ノ不

附 關東局 第六二四號

11.9.15 對滿受ニセテ四號



殖産課

關甲 一五三

關東局

可分關係ヲ徹底強化セシムル所以トモ相成ルヘキニ鑑ミ昭和十一年八月  
六日附關東局告示第八十四號ヲ以テ昭和十二年一月一日ヨリ實施ノコト  
ニ取計候條御諒承ノ上内地各關係機關ニ對シ可然御通達相煩度  
追テ本件實施ニ當リテハ昭和十一年十二月三十一日午後十一時ヲ以テ  
改正標準時ニ依ル午前十時ト爲スモノニ有之尙滿洲國內標準時ニ付テ  
モ同様改正方回國ニ於テ決定セラレ候條此段申添候

治  
制  
局

# 關東局局報

昭和十一年八月六日  
木曜日

號  
外

参考

告  
示

關東局告示第八十四號

昭和十二年一月一日ヨリ東經百三十五度ノ子午線ノ時ヲ以テ關  
東州及南滿洲鐵道附屬地ノ標準時ト定ム

明治四十年關東都督府告示第三十五號ハ之ヲ廢止ス

昭和十一年八月六日

滿洲國駐劄特命全權大使 植田 謙吉

(參照)

明治四十年關東都督府告示第三十五號ハ本號ト同伴ナリ

關東局局報號外 昭和十一年八月六日



司甲第一〇號

案起 昭和十一年五月二十四日

裁可 昭和 年 月 日 施行 昭和 年 月 日

内閣總理大臣

三

内閣書記官長 藤田

内閣書記官

川島

外務大臣

三

陸軍大臣

五

文部大臣

重

逓信大臣

厚

内務大臣

五

海軍大臣

五

農林大臣

五

鐵道大臣

名

大藏大臣

五

司法大臣

五

商工大臣

五

拓務大臣

查

別紙兩院ノ議決ヲ經タル思想犯保護  
觀察法案ヲ審査スルニ右ハ貴族院



昭和十一年五月二十四日